

ぼくらは現代劇時代劇二刀流

チョン髷をつけた紳士たち三船・鶴田御両所が語る、これは楽しい時代劇放談会!!

◆千鳥足の浩ちゃん

三船 よおーツーさん暫く……

鶴田 今日はやけに暑いね。敏(びん)さん休みかいセットは……

三船 なんのなんの……5時からオープンだよ。ツーさんは?

鶴田 うん。今日のロケでやっとアガったよ「旅姿鼠小僧」は……、いささかバテ気味ですわ。今日のロケもきつかったけど、このあいだの生田ロケには参ったよ。捕手に追われる、走りのシーンばかりだろう。フラフラになっちゃってね。おかげで「千鳥足の浩ちゃん」なんてありがたくねえニック・ネームを巨匠(おやじ)(稲垣浩監督のこと)にいただきちゃってね。

三船 千鳥足の浩ちゃんはよかったなア(笑)

鶴田 本当はそうじゃないんだよ。追われながらかけてきて、カメラの前での芝居があったんだけどね。そこで芸が細かいところをみせようと思って、フラフラとよるめく芝居をしたんだが、巨匠はそう思わないんだな、これが……本当にオレがへばったと思ってるらしく、それいらい俺の顔をみると「千鳥屋」ってどなるんだよ。(笑) かなわねえよ。……敏さん、随分ヒゲのびたねえ……

三船 うん、うん。これで一と月だけど暑いやら、かゆいやらでね。これでも格好いいようにときどき刈るんだがね。

鶴田 でもなかなかいいヒゲじゃないか、格好がさ…… オレなんか八の字の朝鮮ヒゲだから、みっともなくてね。

三船 そうヒゲするなよ……(笑)

鶴田 敏さんのしゃれもなかなかだねえー(笑) 今度の映画どお。「隠し砦の三悪人」……は。

三船 うん。今度はおつき合いていどなんだよ。今日のシーンで馬にマキを背負わせるんだけど、このへんの馬ときたらマキなんか背負ったことないだろう。だから思うようにいかないんでね。馬とマキじゃあ食い合せが悪いわい。

鶴田 敏さんは今度で時代劇は何本かな?

三船 「羅生門」「七人の侍」「柳生武芸帖」「蜘蛛巣城」「宮本武蔵」それに今度の「隠し砦」と、そんなところかな。ツーさんの方がベテランだよ……

鶴田 本数だけからいえばね。20本ぐらいになるかな。でもなかなか自分のやりたいと思うのはないもんだよ。20本出たって自分で気に入ったのは松竹でとった「獄門帖」ぐらいだもんね。映画の評判や興行成績はよくなかったけど、作り方も、話もよかったよ。それに役者もよかったし……。

三船 おいおい、役者ってじぶんのことかい。

鶴田 まあそうだ。(笑)

三船 (笑)

鶴田 大曾根監督の作品だったが、オヤジ(大曾根辰保監督のことを、鶴田さんはこう呼びます)のものではよかったよ、なかなか。それに話も真面目でね。打ち出すものがマトモだし、いわゆるチャンバラじゃなかったからね。

三船 そうだな。その点東宝の時代劇に通じるものがあったからね。

鶴田 大体ね、よくチャンバラの主人公がさ、何十人きっても歌かなんかうたっちゃってさ。まるで息切れ一つしてないなんてオカシイと思うよ。

三船 そうだよな。まるでウソだよな、そんなのは。第一見ていてついていけないからな。

鶴田 その点、売り込むわけじゃないけど、こんどの鼠小僧はいいね。話は派手そうだけど、人一人斬るのにも悩みをもつような人間くさい男だからね。

◆ブツケ本番

鶴田 たちまわりはシンドイね。

三船 まったくナマキズがたえんわい。こっちがガムシヤラな方だから……。この足のキズもそうなんだ。「隠し砦」のたちまわりで相手の槍をもぎとるときに、どっちがどう間違えたのか、相手との距離のバランスがくずれて、ブスリとやられちゃった。一と月も前なんだけど、いまだになおらない。刀にしたってタケベラだけど、勢いがついているからこわいよ。

鶴田 オレも竹光で口のそばをやられたことがある。本能的にさけたおかげで、たいしたことはなかったけど……。だけど、大体手順がついている時は、あまりたちまわりの迫力がでないね。かえって手順のついてないときの方が不安なせいか迫力がでてくるよ。

三船 「宮本武蔵」の伊豆の今井浜ロケの時もそうだったね。何しろ巖流島の決闘をブツケ本番でやったっけなあ。

鶴田 そうそう。朝の五時に起きて日の出をバックにとろうというんで、ブツケでね。山田カメラマンがテストなしの本番だというんで、大丈夫か行ってきいたら、俺だっけうつしてみなきゃ、分らんといっていたが、あの時は参った。

三船 砂地で足跡がつくから稽古はできない。……。それでいきなり本番ってドナられちゃって……。

鶴田 そこにとびこめ、サヤをすてろ、あげくの果てに役者どけてドナリやがった……。

三船 何しろカメラから大分はなれているんで、何をドナっているか分らないんだけど、どうもオレたちのことらしい。(笑)

鶴田 スクリーン・プロセスのバックをとっていたらしいんだな、後で聞いたら……。しかしいきなりブツケでいって、おまけに役者どけはヒドイね。(笑) あの時の二人のたちまわりは打ち合せなしだったせいか迫力がでていたよ……。敏(びん)さんも

オレもね。評判もよかった。

三船 手順のながれをつけると力がなくなって迫力がなくなることはたしかだ。そのいみでは効果あったかもしれないが……丁度冬の寒い時で、舟からとびこめっていわれてとびこんだらこれが胸まである深さで、足をとられたのには弱ったよ。だが冬の海って案外暖かいもんだな。

◆キモノはやだね

鶴田 敏さんとはじめて顔をあわせたのは、たしか現代劇だったね。

三船 うん。山本さん（山本嘉次郎監督）の「男性ナシバーワン」だよ。それから巨匠の「宮本武蔵」それに「柳生武芸帖」かな……。

鶴田 二人ででているわりにはあんまりロケにいかなかったね。そうそう「柳生武芸帖」の日光ロケはひどかった。

三船 うん、うん「牛のワラジ」か。（笑）

鶴田 （笑）

三船 いやあ、できたての新しいホテルにとまらされて、こりゃあきつとサービスがいいわいとよろこんでいたら、でてきましたね「牛のワラジ」が……。

鶴田 ナイフもフォークも通らないのにはおどろいた。おまけにそのほかにはなんにも食べ物がなくて、二人でウイスキーを二本あけちゃったね。ブツブツこぼしながら。

三船 見た目にはなかなかうまそうだったがなあ。「牛のワラジ」みたいにバカでかくて……

鶴田 このごろは大分なれてきたけど、時代劇もはじめのうちは勝手がちがってマゴツイだよ、よく。たちまわりでは、ハリキリすぎてかつらがスポッとぬけちゃったり……

三船 そうだよ。ハズミでよくとれるね。だからこのごろは、はげしい動きのあるときは糸で顎のところへとめておくんだ。

鶴田 そうかとおもうと、封切におわれて、撮り直しのきかない撮影のときに、刀のサヤをさしたまま相手と取っ組み合うシーンで、どうもうまくころがないと思ったら、オレの刀が土にささってたり……

三船 ワシだって時代劇畑じゃないからなおさらだよ。みようみまねでやっても、なかなかいたにつかんわい。

鶴田 どうも型にこだわるものはダメだよ。どうしても自分流にやっちゃうんだな。東映の人なんかは、大体歌舞伎の人で、子供の時から、起居ふるまいが時代劇的で習練をつんでいるからいいけど……

三船 ワシャあキモノっていうヤツが大嫌いでいつもこの格好（アロハに半ズボンという軽快な三船さんのいでたち）でゴロゴロしているんだから、どだいムリな話だよ。今までの「七人の侍」だって「蜘蛛巣城」だっていかめしい衣装じゃなかったし、自由に動き廻れるやつだったからいいけど、型どおりにやらされたら駄目だ。

鶴田 いやオレもキモノはダメだね、家では着たことないよ。おちつかないし、第一

歩きにくいし、安らかにならないよ。たのまれたってきたくないな。

◆二人でこんな時代劇を

鶴田 そういえば敏(びん)さんと同じスタジオで働いていても、メッタに飲まないね……。

三船 そうだな。家が近いんでつい真直ぐかえっちゃうんだよ。家の近いのも不便なものだよ、かえって……。

鶴田 敏さんて相手のことを考えちゃうから、人を誘って飲みに行くなんて器用なことできないものな。オレだってあんまり飲み友だちがないから、このところゼンゼン飲んでない……。

三船 なるほど、このところだけは……ね。(笑)

鶴田 いや、本当なんだぜ。映画の人なんかとメッタに行かないね。せいぜい敏さんぐらいだもんな。どうも役者同士でのみに行くとテレちゃうんだな。気軽になれないんだよ。二人でのんだらウイスキー二本くらいはのめるね。

三船 飲ませりゃね。でも、明日の仕事を考えるとわざわざまちにのみに行く気がしないよ、眠くて……。

鶴田 そうだな。この間も三日三晩、捕手に追われるシーンの徹夜撮影をやったけど、くたくたに疲れてそれどころじゃないよ。眠くて、つかれてね。

三船 でも、この頃ずうずうしくなっちゃったんだな。昔は酒のんでさめた時の自己嫌悪の気持ちならなかったが、このごろは、その時間がだんだんみじかくなってきたよ。(笑)

鶴田 (笑) どうせ会社じゃあやらしてくれないだろうけど、敏さんとオレでやるのに、うってつけの時代劇があるんだよ。三、四年前オール読物に発表されて新人賞をとった南条範夫という人の「子守の将監」¹というんだが……戦国時代を背景に生きる若い野武士二人の話なんだ。

三船 おもしろそうだね。

鶴田 一人はいつも仔牛のような、大犬を連れているんだ。この男の過去のすべては、犬が知っている。だからこの男はいつも犬より先に死にたいと思っている。そうすればこの犬が最後まで自分の歴史を見届けてくれる。そう思っているんだ。もう一人は三つになる女の子をいつも背負っているんだ。この娘には、死んだ妻の面影がある。だからこの娘がせめて嫁に行くまで生きていたいと願っている。その二人がちょっとしたことで親友になる。そして最後には犬の持主は死んでしまう。子守の将監も盲になってしまうんだ。

三船 プロデューサーよんでこようか。

鶴田 まずムリだね。それにヨロイものはあたらないというジンクスがあるからね、映画界にはね……

三船 いつごろからのツーさんの構想？ 三年ごし……？

鶴田 そうだな。敏さんと「武蔵」をやっているときに思いついたんだから、もうそれ

¹ S27年第1回新人賞「子守の殿」を浩ちゃんは翌年、八木保太郎に脚本を依頼している。

くらいになるね。是非実現したいけど。

三船 まかせるよ。つき合して貰います。どうぞよろしゅう。

鶴田 (笑)

◆今一番したいこと

鶴田 敏(びん)さんの今一番したいことは? ゴルフ。

三船 ゴルフもあたりやおもしろいがあたらなときは、ケッタクソわるいわい。そっちは相変らず野球かな?

鶴田 いやゴルフと同じで勝てばいいが、何ていったってこう負けがこんじゃあね。今年はずいてないよ。

三船 そうかね。鶴田ヤングースとしてはダメかい、今年の働きっぷりは……。

鶴田 お話のほかだよ。ところで敏さんはヨーロッパに行ってきたけど感想は……。

三船 ああ。どうっていうことはないな。やはり日本だな。

鶴田 そうだね。言葉もよく分らないでいったって、面白くねえや。五、六年前ハワイに行ったけどいいとこ一週間くらいだね。

◆たちまわりの話

鶴田 変なほうに話がとんじやったけど、やっぱり時代劇やるなら、いわゆるチャンバラというやつじゃないのをやってみたいね。「弥太郎笠」にしても「ヤクザ囃子」にしても、オレは嫌いだな。ああいったものは。自分の好きなものと、人に似合うっていわれるのが別だということは苦しいね。

三船 あんまり荒唐無稽で、ウソッパチのはとにかく嫌だよ。何かこう現代感情に通じる何かがないやあね。最近の子供は、なかなかよく知っているし目がこえているからな。変にフザケたチャンバラをやっていると笑われるしあきられる。やっぱりみていてリアルなもので、お客が素直についてくるようなものをぜひやりたいな……。

鶴田 オレは大体くらい話が好きだな。こんどの「鼠小僧」も、きこえのいいわりには話が地味で、人の女房にほれこんでウロウロするような、たいへん人間くさい男だがちよっとおもしろいね。好きだよ。

三船 ツーさん、このあと「眠狂四郎」だって……何か大分役者がでるんだって?……

鶴田 成瀬監督のチーフだった助監さんが一本立になるんで小林桂ちゃん、森繁さん、山田五十鈴さん、加東大介さん、木暮実千代さんがお祝いのでるっていう話だよ……

三船 「狂四郎」もなかなかおもしろいぜ。

鶴田 いやあの円月殺法という構えには面白い話があるんだ。原作者の柴田先生が剣術は全くの素人なんだな。それで狂四郎の剣の構えかたを、普通は右足をだすんだが、左足をだしてみたら、というんでやったんだ。そうしたらこれが新鮮で受けたんだ。剣道の達人が見たら、あれでは人は殺せないんだっていうかもしれない。

三船 でも面白いな、あの構えは。とにかくツーさんがんばってくれ。

鶴田 敏(びん)さんこそ……